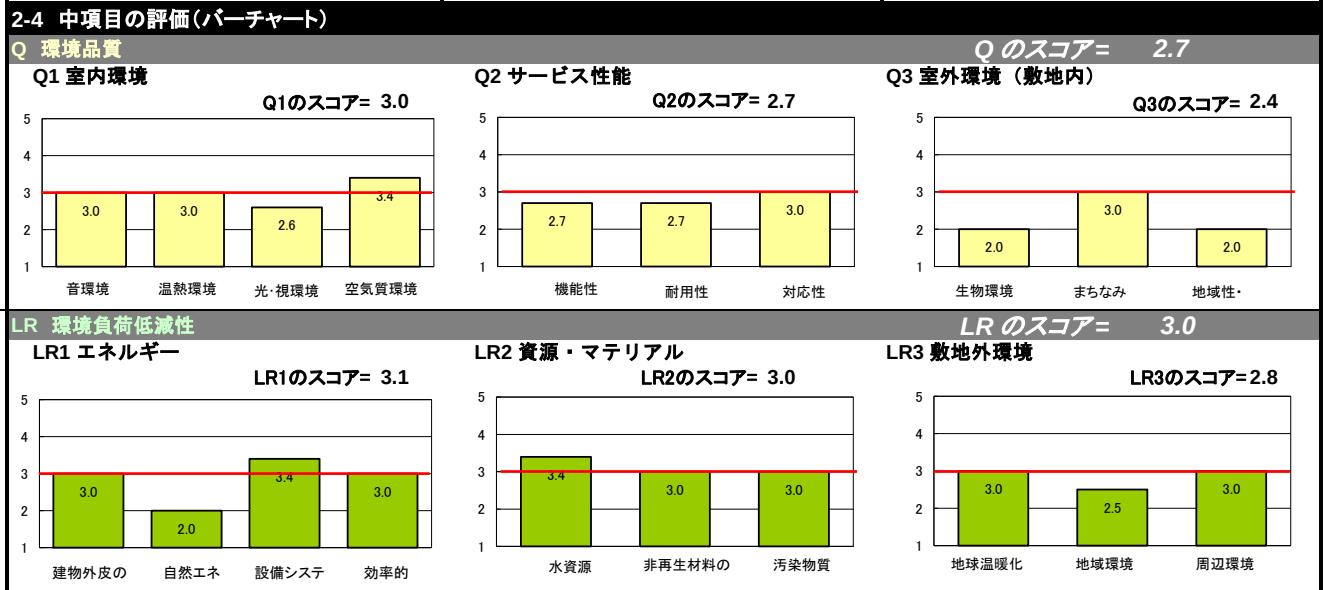
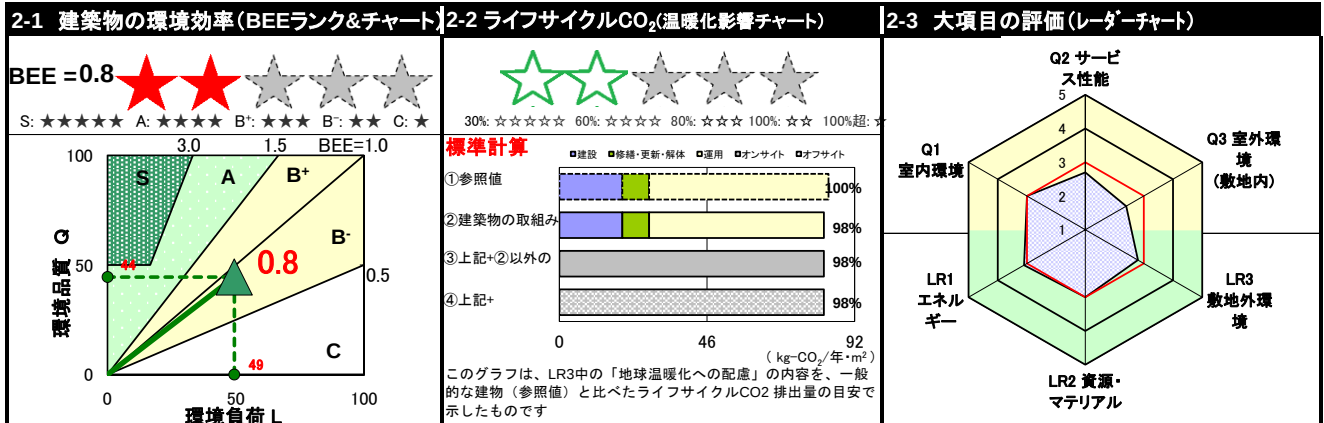


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)サムティ浜松市中区連尺町	階数	地上14F、地下1F
建設地	静岡県浜松市中央区連尺町314-1	構造	RC造
用途地域	商業地域	平均居住人員	117 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年12月 予定	評価の実施日	2023年 5月10日
敷地面積	575 m ²	作成者	花村宏之
建築面積	364 m ²	確認日	2024年12月13日
延床面積	4,477 m ²	確認者	中尾有希子



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
「CASBEE静岡2016年版による評価結果」である。		特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
各住戸部分は区画し、遮音性能を高めている。 外壁天井共に断熱材を充填し室温環境に考慮している。	バリアフリーを考慮し、どなたでも住みやすい居住空間となるように努めている。 内装も維持管理しやすい素材としている。	敷地廻りには植栽帯を確保し、隣地からの隔離距離を確保している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
断熱性の高い資材等を採用し、熱負荷の低減を図る。	建築資材として、再生砕石を利用し考慮した。	緑地の確保、駐車場の確保、その他法令条例に準じた設備としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

1. 建物概要									
建物名称	(仮称)サムティ浜松市中区蓮尺町				BEE	0.8	BEEランク	B-	★★

2. 重点項目への取組み度									
重点項目	得点*/満点	取組み度	評価						
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.1	/5	     ふつつ 						
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.3	/5	     がんばろう 						
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.5	/5	     がんばろう 						
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.5	/5	     がんばろう 						
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示 します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上 	ふつつ 3 点以上 	がんばろう 3 点未満 				

3. 重点項目についての環境配慮概要									
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。					内訳対応項目				
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)					得点 3.1				
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) 外皮に断熱材を使用する	Q-1 2 2.1 2.1.2 ①	外皮性能	Q-1 3 3.1 3.1.3 ②	屋光利用設備	Q-2 2 2.2 2.2.1 ③	昼光制御	Q-2 2 2.2 2.2.2 ④	躯体材料の耐用年数
				2.2.3 ④	外壁仕上げ材の補修必要間隔	2.2.4 ④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	2.2.5 ④	空調・給排水配管の更新必要間隔
				2.2.6 ④	主要設備機器の更新必要間隔				
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) 特になし	Q-3 1	⑤	生物環境の保全と創出	3 3.2	⑥	敷地内温熱環境の向上		
	■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) 特になし	LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2	⑦ ⑧ ⑨ ⑩	建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用 設備システムの高効率化 モニタリング 運用管理体制	LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 1.2.2 2 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3 3.1 3.2 3.2.1 3.2.2 3.2.3	⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	雨水利用システム導入の有無 雑排水等利用システム導入の有無 材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 有害物質を含まない材料の使用 消火剤 断熱材 冷媒		
■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) 節水型の衛生機器を使用 F☆☆☆☆の材料を使用	LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 1.2.2 2 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3 3.1 3.2 3.2.1 3.2.2 3.2.3	⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	節水 雨水利用システム導入の有無 雑排水等利用システム導入の有無 材料使用量の削減 既存建築躯体等の継続使用 躯体材料におけるリサイクル材の使用 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 有害物質を含まない材料の使用 消火剤 断熱材 冷媒	LR-3 1 2 2.2	⑭ ⑮	地球温暖化への配慮 温熱環境悪化の改善			
"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)					得点 2.3				
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) 特になし	Q-2 2 2.1 2.1.1 2.1.2 2.4 2.4.1 2.4.2 2.4.3 2.4.4 2.4.5	⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	耐震性 免震・制振性能 空調・換気設備 給排水・衛生設備 電気設備 機械・配管支持方法 通信・情報設備					
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)					得点 2.5				
	■サービス性能対策 (⑯機能性・使いやすさ/⑰心理性・快適性/⑲空間のゆとり) 特になし	Q-2 1 1.1 1.1.3 3 3.1 3.1.1 3.1.2	⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	ユニバーサルデザイン計画 階高のゆとり 空間の形状・自由さ					
	■室外環境(敷地内)対策 (②①地域性・アメニティへの配慮) 特になし	Q-3 3 3.1	②①	地域性への配慮、快適性の向上					
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)					得点 2.5				
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/②②まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) 特になし	Q-3 1 2 3 3.2	⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	生物環境の保全と創出 まちなみ景観への配慮 敷地内温熱環境の向上					
	■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善) 特になし	LR-2 2 2.5 LR-3 2 2.2	⑫ ⑮	持続可能な森林から産出された木材 温熱環境悪化の改善					